

二〇二四年 於・奈良女子大学

# ジェンダー法学会公開シンポジウム



奈良女子大学図書館所蔵『世界婦女往来』(1873年)

12月5日(金) 18~20時 プレシンポ  
ひとり親家庭への支援と課題

12月6日(土) 13~17時 シンポジウム  
ケアとジェンダー

12月7日(日) 13~17時 シンポジウム  
貧困からの脱却とジェンダー

奈良女子大学図書館所蔵江戸時代後期の絵地図(奈良)



主催:ジェンダー法学会  
共催:奈良女子大学アジア・  
ジェンダー文化学研究センター

# ジェンダー法学会第十二回学術大会プログラム

12月6日(土)13~17時

## ケアとジェンダー

- ・司会:三成美保(奈良女子大学)・牟田和恵(大阪大学)
- ・趣旨説明ーケア論の射程:三成美保
- ・総論ーケアの倫理の社会的可能性:岡野八代(同志社大学)
- ・憲法上の権利とケア:遠藤美奈(早稲田大学)
- ・ケアと労働ー労働法学の解釈における「ケアの倫理」の可能性:緒方桂子(広島大学)
- ・ホームレス状態にあること:遠藤比呂通(弁護士)

12月7日(日)13~17時

## 貧困からの脱却とジェンダー

- ・司会:浅倉むつ子(早稲田大学)・神尾真知子(日本大学)
- ・趣旨説明ー近代家族の問題性:二宮周平(立命館大学)
- ・貧困とジェンダー格差:阿部彩(国立社会保障・人口問題研究所)
- ・出産・育児を契機とする働く女性の貧困:菅野淑子(北海道大学)
- ・非正規雇用とジェンダー:中野麻美(弁護士)
- ・女性の貧困に対する住まいの支援政策:金川めぐみ(和歌山大学)
- ・「家族」への支援ー養育費政策の現状と課題:下夷美幸(東北大学)



旧奈良女子高等師範学校本館(重要文化財)

### ◆12月5日(金)18:00-20:00 プレ企画「ひとり親家庭への支援と課題」

- ①「企画趣旨」二宮周平(立命館大学)
- ②「ひとり親家庭と子ども支援～その現状と課題」中塚久美子(朝日新聞記者)
- ③「寡婦控除と非婚の母への差別」金澄道子(東京弁護士会)

### ◆12月6日(土)午前の部 9:30-11:30 (AとBは同時並行で実施)

- ワークショップA「ジェンダー法系の体系を求めて」(於:文学系S棟2階S228講義室)  
企画代表者・相澤美智子(一橋大学大学院法学研究科)・共同報告者・水林 彪(早稲田大学法文学学術院)
- ワークショップB「雇用差別禁止立法の実効性をどう確保するかーイギリス2010年平等法を手がかりに」  
(於:文学系S棟1階S128教室)
- 報告者・浅倉むつ子(早稲田大学)内藤忍(労働政策研究・研修機構)宮崎由佳(電気連合総合研究企画室)

### ◆12月7日(日)午前の部 9:30-11:30 個別報告(AとBは同時並行で開催)

- 個別報告A:司会 矢野恵美(琉球大学) (於:文学系S棟2階S228教室)
- 1 石田京子(早稲田大学法務研究科准教授)  
「弁護士キャリアの『ガラスの天井』の構造分析ー第62期弁護士追跡調査の結果から」
  - 2 對馬果莉(同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程)  
「グローバル・ケア・チェーンの批判的考察ーアレントの世界疎外概念を中心に」
- 個別報告B:司会 小島妙子(仙台弁護士会) (於:文学系S棟1階S128教室)
- 1 金 成恩(キム・ソンウン:立命館大学グローバル・イノベーション研究機構・専門研究員)  
「韓国における子の氏の決定ルールージェンダーの視点からの検討ー」
  - 2 佐藤美和(お茶の水女子大学大学院研究員)  
「同性婚をめぐる法的議論における婚姻する権利の平等ーアメリカとカナダの事例を中心に」

- シンポジウム会場(文学系S棟235大講義室)
- プレシンポ会場(生環系A棟生活環境学部会議室)
- 一般参加歓迎(シンポジウム2日間の参加費1000円・プレシンポ無料)

主催:ジェンダー法学会 <http://www.tabi-go.com/genderlaw/>

共催:奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター <http://koto.nara-wu.ac.jp/gender/>  
大会運営委員会

三成美保(委員長・奈良女)・中里見博(徳島大学)・青木加奈子(奈良女ジェンダー・センター)

問い合わせ先:奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター 電話:0742-20-3611

アクセス:近鉄奈良駅1番出口北へ徒歩5分(正門)